



JTUC

日本労働組合総連合会
山梨県連合会 (略称 連合山梨)

No.351 2020.9.17

私たちが未来を変える
～安心社会に向けて～

れんごう

YAMANASHI

女性役員を選出している構成組織は5割

「第4次男女平等参画推進計画」を1年延長へ

連合山梨は、2013年5月開催の連合第65回中央委員会において、連合「第4次男女平等参画推進計画」(2013年10月から2020年9月の7年間を計画期間とする)で確認された3つの目標を基に、「連合山梨男女平等参画推進計画」(計画期間を2017年6月から2020年10月まで)を策定し、核となる3つの目標に対しての数値目標を設定して取り組みを展開してきました。

「連合山梨」3つの数値目標

①全ての構成組織が、運動方針に、「連合」3つの目標を加味した男女平等参画の取り組みを明記する(100%) ②全ての構成組織で女性役員を選出する(100%) ③連合山梨大会構成員(代議員・大会役員・傍聴)の女性参画比率を30%とする

● 連合山梨男女平等参画推進計画の目標は未達

連合山梨が5月に構成組織への状況調査を行ったところ、全体での目標は未達成となることが分かりました。

連合山梨目標に対する達成率

①3つの取り組みを明記している構成組織は、23組織/25組織中で達成率は92.0%

②女性執行委員を選出出来ている組織は、12組織/25組織中(内1組織は女性組合員0名)で達成率は48%(女性組合員0名の組織を除くと50%)

未達の要因として「限られた執行部枠で、比率が少なく活動や責任を敬遠される女性職員の役員登用は厳しい」などの意見があり、女性職員に対し継続して組合活動等への理解と協力を求めていく必要があります。

③昨年、連合山梨第31回定期大会の大会構成員数に占める女性の割合は12人/135人中で達成率は8.9%(第30回年次大会は13人/133人中で9.8%。第29回定期大会は13人/136人中で9.6%)

「第4次男女平等参画推進計画」を1年延長

このような中、連合はジェンダー平等・多様性推進委員会および第4次男女平等参画推進PTを中心に議論を重ね、2020年9月に計画期間が満了する『連合「第4次男女平等参画推進計画」』を2021年9月まで1年間延長するとともに、その間の取り組みとして、『連合「第4次男女平等参画推進計画」プラス』(第12回中央執行委員会(2020年9月17日)で確認)を策定し、運動を展開するとしています。

連合山梨としても、男女平等参画推進委員会の中で、『連合「第4次男女平等参画推進計画」プラス』の方針内容の確認を行い、2021年9月までに取り組むべき重点目標と到達目標を策定して活動を展開していきます。

ジェンダー・バイアスの払拭へ

大沢真知子日本女子大学現代女性キャリア研究所所長の著書「なぜ女性管理職は少ないのか」(青弓社)で示されている、ある研究結果によると、「一般的に女性はリーダーや管理職になりたがらず、リーダーの経験も少ないことが管理職の女性比率を低くしているといわれる。しかし、組織経営や経営管理の仕事に対する興味には、基本的に男女の違いが見られない。また、小学校から高校・大学時代までのリーダー経験数も男女でそれほど変わらない。ということは、社会人になってからは女性よりも男性のほうがリーダー経験数が多くなるということの意味している」とのことです。

「男女平等参画の取り組みは女性が中心に担うべきもの」が典型的な固定的性別役割分担意識、「一般的に女性はリーダーや管理職になりたがらない」が典型的なジェンダー・バイアスであり、ともに労働組合に強く当てはまります。

そもそも、なぜ女性の組合員や役員の話になると必要以上に「人材育成」が強調されるのか。なぜ既存の組織や運動は所与のものとして、それらを省みる議論とならないのか。労働組合こそが、自らを変革しつつ、先頭に立って世の中に蔓延するこれらの意識・バイアスの払拭に力を尽くしていきましょう。

公 示

連合山梨 第32回年次大会

- 日時 2020年10月23日(金) 13:00開会
- 場所 セレス甲府(アピオ)本館1階「吉兆の間」
- 議題
 1. 2020年度活動報告
 2. 2020年度決算報告・会計監査報告
および剰余金処分案
 3. 2020～2021年度運動方針の補強(案)
 4. 2021年度予算(案)
 5. 役員の出選について
 6. その他

〒400-0858 山梨県甲府市相生2丁目7-17 労農福祉センター内
TEL.055-228-0050 FAX.055-222-1189

URL: <http://yamanashi.jtuc-rengo.jp/>
E-mail: info@yamanashi.jtuc-rengo.jp 発行人 窪田 清

Facebook
いいねしてね!

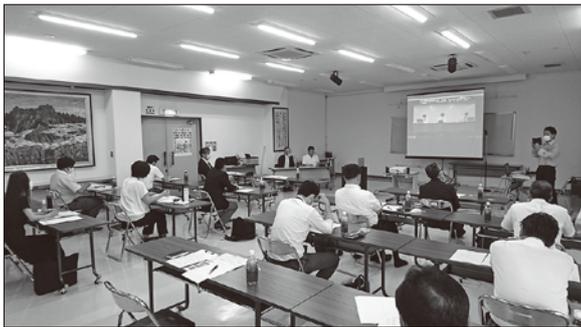
連合本部フェイスブック



連合山梨ホームページ



8 27 THU 連合 総対話活動 第2弾を実施



連合山梨は8月27日に執行委員会産別、女性・青年委員会、地域協議会の代表者総勢20名参加のもと、構成組織や地方連合会との日常的なコミュニケーションを充実し、運動再構築の理解浸透と意見交換を行うとして、連合本部との対話会を実施しました。2度目となる今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から対面方式とせず、Web方式で開催しました。

開会挨拶を連合本部 山根木総合局長から頂いた後、連合山梨 萩原会長より県内の春闘状況を説明し、混沌とする政治情勢への関わりについて早期の検討を進めて行くとの挨拶がされました。

対話会の第一部として、連合本部 石上副事務局長より、連合ビジョン及び2020~2021年度運動方針のポイントとして、「働く仲間一人ひとりをまもる」「働く仲間・地域社会をつなぐ」「社会・経済の新たな活力を創り出す」とした「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」の運動の再構築をはかるとの説明を頂きました。

第二部は、連合山梨 窪田事務局長より、政治に対しての問題意識として、若者の政治離れについて言及し、政治への関心を高めるための主権者教育(※1)やSNS活用による投票率の向上などについて触れ、政治に関心を高める方法を見出し取り組んで行くとの課題提起を行いました。

また、双方の意見交換では、各組織の代表者から、病院や地域医療構想に関することや、災害ボランティア、小学校における主権者教育の現状など様々な意見が交わされました。連合本部 相原事務局長からも質問や意見を頂き、最後にこれからの活動に対する思いの込められた挨拶が述べられて対話会が終了しました。コロナ禍でWebによる新しい形式での対話会となりましたが、連合の取り組みに対しての大変貴重な意見交換の場となりました。

※1 主権者教育とは、
様々な利害が複雑に絡み合う社会課題について、できるだけ多くの合意を形成し、今とこれからの社会をつくるために、政治に参画(=意思決定プロセスに参加)することを目指して、若者が「知り・考え・意見を持ち・論じ・決める」ことを学んでいく教育

9 8 TUE 山梨労働局に対して「就職差別廃絶」を要請!

9月8日(火)山梨労働局に対し、「就職差別をはじめ、あらゆる差別の廃絶に向けた要請」を実施しました。冒頭、萩原会長より要請書の手交と趣旨の説明を行い、「企業では様々な問題を抱えており、その解決に向けて支援を進めるとともに、人権教育・啓発の取り組みの強化を図って欲しい」との挨拶を行いました。



要請内容としては、①「統一応募用紙」「厚労省の参考様式に準じた応募用紙」の使用を企業や関連団体等に対して周知徹底すること。②個人の能力に必要なとしない「戸籍謄(抄)本の提出」や、面接時における「本籍地・出生地」、「家族構成・家族の職業や収入」、「男女差別につながる未婚・既婚や結婚の予定」等の質問は行わないこと。③応募時における健康診断の実施や健康診断書の提出は、業務遂行に必要な特定職種に限定すること。④就職差別をはじめとする、あらゆる差別の廃絶に向けた人権教育・啓発活動の強化を図ること。を記載し、山梨労働局に手渡しました。

最後に、藤本労働局長より、連合山梨からの要請内容について各部局に徹底するとともに、山梨県としては80人ほど在籍している公正採用選考人権啓発推進員に対して、「求職者に関する採用・選考について、人権教育と啓発等により一層努めていく」旨の表明がされました。

連合山梨は、安心して働ける環境整備、中小企業への支援など山梨県の対応を注視していきます。

法律相談 & 「心のケア」カウンセリングのお知らせ

法律相談	10月6日(火)	11月10日(火)	12月9日(水)	相談時間/15:30~17:30 (相談時間 1人30分無料)
「心のケア」 カウンセリング	10月7日(水)	11月4日(水)	12月2日(水)	カウンセリング時間/ 18:30~20:30 (カウンセリング時間 1人50分無料)

【お申込み】やまなし勤労者サポートセンター(担当:清水) 【お問合せ】TEL 055-227-6290 FAX 055-222-1189



連合山梨結成30周年 記念事業

「フードドライブボランティア」

フードバンク山梨にて仕分け作業実施



フードドライブボランティアは、連合山梨結成30周年を記念し、「豊かな地域社会づくりへの貢献」、「継続して取り組むことができる。」をコンセプトにスタートしたボランティア活動です。

初の取り組みとなる今年度は4月から約2ヶ月間、各構成組織に袋麺、缶詰、菓子類などの収集をお願いし、集まった食材600Kg(2601品)と、米類144Kgを6月上旬にフードバンク山梨へ寄贈させて頂きました。

フードバンク山梨には年間を通じ、多くの企業、個人から食材が寄贈されていることから、仕分けや箱詰め、発送作業に人手が足りず、多くのボランティアの方々の協力により、生活困窮者のもとへ食材が届けられています。

そこで、連合山梨としては活動の一環として、8月21日に各構成組織と連合山梨事務局、山梨県労働者福祉協会から総勢18名が参加し、フードバンク山梨飯野倉庫にて仕分け作業のお手伝いをさせて頂きました。

最初に倉庫内物資の保管状況と当日の作業内容の説明を受け、個人宅にお渡しする160箱の、「段ボール箱の組み立て」、「箱詰め、作業を行いました。

また翌日以降の準備として、お米の小分けや配送分の積み込み、食材の開梱や陳列作業なども行いました。新型コロナウイルス感染症防止策や、真夏の作業ということで熱中症にも気を遣う中での作業となりましたが、参加者からは充実した活動との声が聞かれました。

連合山梨は、次年度以降も「地域に根ざしたボランティア活動」として継続して取り組んでいきます。引き続きのご協力をお願いします。

フードバンクの取り組み

十分に安全に食べられるのに、箱が壊れたり、印字が薄くなったりして、販売できない食品を企業・個人から寄贈してもらい、必要としている施設・団体・個人に無償で提供する活動です。

9

12
SAT

平和行動in根室

連合は、北海道根室市において毎年9月に「平和行動 in 根室」を開催し、北方四島に最も近い納沙布岬での「平和ノサッブ集会」や北海道立北方四島交流センター(ニ・ホ・ロ)での「北方四島学習会」などを行っています。

残念ながら「2020平和行動in根室」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、メッセージ等動画配信によるWeb開催となりました。下記のアドレスサイトで動画配信されておりますので、多くの方のご視聴・閲覧を宜しくお願いいたします。

【2020平和行動in根室】

- (1) オープニング
(戦前の北方四島の暮らしや風景、連合の北方領土返還要求運動の概要など)
- (2) 連合北海道会長メッセージ
- (3) 根室市長メッセージ
- (4) 「希望の旗～未来につなぐメッセージ」披露(連合北海道)
青年委員会、女性委員会メンバーによる未来へのメッセージ
- (5) ピースフラッグリレー(連合北海道から連合沖縄へ)
- (6) エンディング

2020年9月12日(土)
8:00より公開



<https://www.jtuc-rengo.or.jp/activity/kizuna/peace/>

●連合ホームページ

「7つの絆 平和運動
北方領土返還要求運動」

<https://www.jtuc-rengo.or.jp/activity/kizuna/peace/hoppou.html>

2020年
9月12日(土)
8:00より公開



働く人、管理職、コンプライアンスに重要な「ワークルール」習得に!

ワークルール検定

2020「秋」

「ワークルール検定」は、働くうえで知っておきたい労働法について、正確な知識を獲得するための検定制度です。労使双方に役立つ検定であることから、厚生労働省や日本生産性本部もこの検定を後援しています。山梨では下記にて実施されます。

日時 11月23日(月・祝) 11:00～11:45(受付10:15)

※ワークルール講習は事前にWebにて実施

会場 岡島8階 ローヤル会館

受験資格 どなたでも受検できます。

申込締切 10月22日(木)

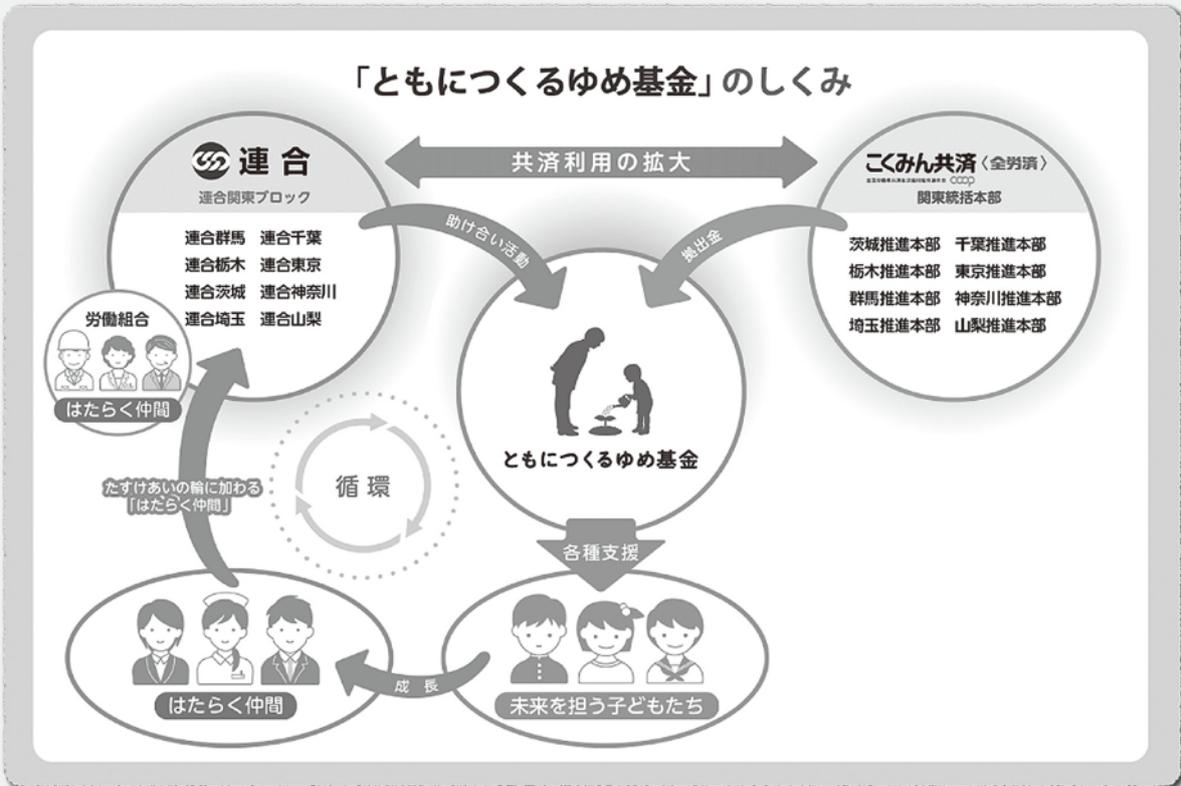
費用 初級：2,900円(税込)



ご不明な点は、構成組織または連合山梨へご連絡下さい。(問い合わせ 連合山梨 055-228-0050)

「ともにつくるゆめ基金」2020年9月より事業スタート!

連合関東ブロックとこくみん共済coop関東統括本部は、一般財団法人ともにつくるゆめ基金を設立し「組合員と家族のための新たな助け合いのしくみ」として「親を喪った子ども」を支援します。子どもたちが助け合いを感じながら成長し「はたらく仲間」となることで、私たちが取り組む運動を未来につなげることを目指します。



連合関東ブロックとこくみん共済 coop 関東統括本部の共創活動により生まれた新たなたすけあいのしくみ

2020年9月
事業スタート



ともにつくるゆめ基金

親を喪った子どもたちのゆめを
みんなで支えていく。
未来のはたらく仲間への、支援のかたちです。

一般社団法人ともにつくるゆめ基金〈支援プログラム〉

ともにゆめをはぐくみ、ゆめへのチャレンジをサポートします。

2020年6月1日以降に事象が発生した支援対象者に適用されます

ゆめ育成支援金

0歳～24歳まで毎年の誕生日(誕生日)に、
1万円分(ポイント)の支援を行います。



ゆめ応援支援金

0歳～15歳までのあいだに … 15万円(ポイント)
16歳～24歳までのあいだに … 15万円(ポイント)

ともにつくるゆめ基金の支援概要についてはホームページをご確認ください。

一般社団法人ともにつくるゆめ基金事務局 | <https://www.tomoniyume.org>

